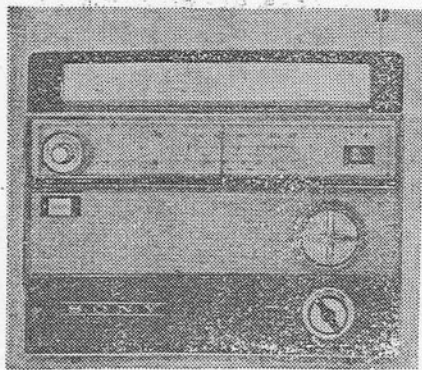
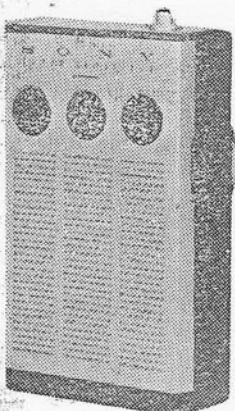




しても内蔵のバーアンテナが小さくなり感度が下るので、これを RF 増幅により補って高感度なものになっている。また低周波部は OTL 回路を採用して音質の向上をはかっている。電源スイッチは押ボタン式、それにトーン・スイッチで音質を2段に切替えることもできる。また IF モジュールを使っている。出力は無歪で 180 mW、最大 280 mW。スピーカーは 6 cm 丸型でインピーダンスは 45 Ω。消費電流は無歪最大時に 40 mA。電源は 006 P (9 V) である。外形寸法は 109×67×34 mm で、重さは 280 gr である。定価は ¥9,400

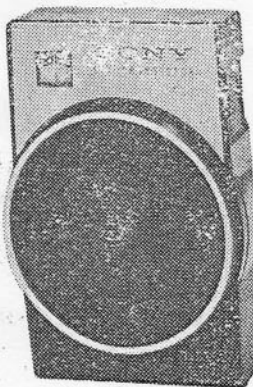
●オールウェーブ “TR-911”

受信周波数 MW: 535~1605 kc, SW: 3~9 Mc, SW: 9~24 Mc のオール・ウェーブ・デラックス型である。使用トランススターは9個。アンテナはフェライト・バーが中波専用。短波専用が各1個。それに8段(110 cm)引伸しのロッド・アンテナがついている。出力は無歪で 550 mW、最大 900 mW。スピーカーは 10×15 cm 楕円型となっている。無歪最大時の消費電流は 220 mA。電源は単一×4 (6 V) である。外形寸法は 218×264×103 mm で、重量は 2.7 kg。値段は ¥21,000



●6 石ポケットブル “TR-650”

ポケットブルとしては珍らしく大型(6.5 cm)のキノコ型スピーカー (8 Ω) を使っている。そしてバーアンテナに悪影響のある金属シャシーを廃してモールド・シャシーにしてある。受信周波数帯は 535~1605 kc、出力は無歪: 150 mW、最大 240 mW。消費電流は無信号時が 6 mA、無歪最大出力時が 36 mA。電源は 006 P (9 V) 1 個。外形寸法は 94.6



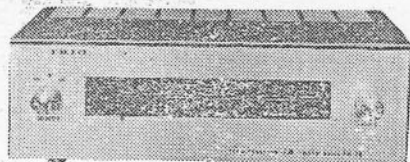
×66×30 mm、重量は 200 gr となっている。値段は ¥6,300。(東京都品川区北品川)

ソニー K. K.

トリオの新製品3種

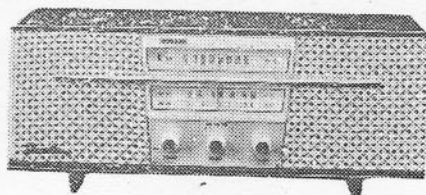
●FM チューナー “FM-30”

本機は同社のオール TR ステレオ・アンプ “TW-30 型” と併用した際外観デザインがバランスするように意匠設計が行われている。使用真空管およびダイオードは 6AQ8×2, 6BA6×3, IN60×2, SM-150a で、近く開始されるであろう FM マルチ・ステレオ放送にそなえて、充分の分離と低歪率が得られるようになっている。また三連バリコンを使用して RF 同調式になっているからイメージも少なく高感度である。また AFC 回路もついている。受信周波数は 80~108 Mc、感度: 2.5 μV (20 dB S/N)、歪率 1% 以下 (100% 変調)、イメージ比 45 dB 以上 (88 Mc)、リミッター始動点入力電圧 12 μV (88 Mc)、S/N 比 60 dB 以上 (500 μV 入力、100% 変調)、出力端子は FM および MPX。外形寸法は横 301×高さ 105×奥行 170 (mm) 現金正価は ¥12,400



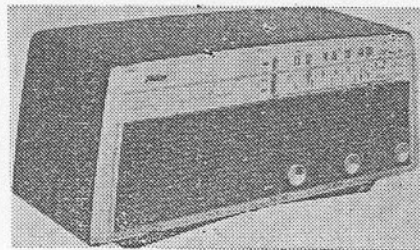
●3 バンド・ラジオ “AF-290”

木製キャビネットに2つのスピーカーを配した FM つきホーム・ラジオである。使用真空管およびダイオードは 17EW8, 12BE6, 12BA6×2, 12AV6, 50C5, 1S48, OA81×2, SM15a となっており、受信周波数帯は FM: 76~90 Mc AM: 535~1605 kc, SW: 3.0~10 Mc となっている。感度は S/N 20 dB に要する入力: FM: 5 μV/84 Mc, AM: 50 μV/1 Mc, SW: 100 μV/1 Mc。出力は 1.5 W 歪率は 1% 以下 (50 mW 出力)。外形寸法は横 445×高さ 190×奥行 150 (mm) で、重量は 3.2 kg である。現金正価は ¥10,400



●3 バンド・ラジオ “AF-250”

受信周波数帯 BC: 535~1605 kc, SW: 3.0~10 Mc, FM: 80~100 Mc の3バンド・ラジオで、内容は 17EW8×2, 12BE6, 12BA6×2, 12AV6, 30AC, OA79×2 である。中にスピーカーはついているが、インピーダンス 8 Ω の外部スピーカーへの出力端子が出ているから Hi-Fi スピーカーへつなぐことができる。出力は最大 1.5 W 歪率 1% 以下 (50 mW 出力にて)。感度は BC: 50 μV, SW: 100 μV, FM: 3 μV (50 mW に要する入力) となっている。外形寸法は横 280×高さ 135×奥行 145 (mm) である。現金正価は ¥7,950。

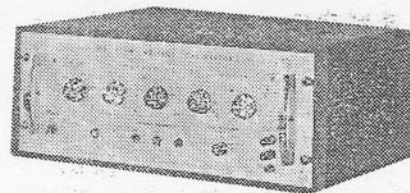


(東京都大田区調布千鳥町 74)

トリオ K. K.

菊水の電圧目盛較正器 “102”

本機は真空管電圧計、オシロスコープなど、入力インピーダンスの高い機器の電圧目盛較正用の電源で、多レンジのアッテネーターを内蔵し、500 V までの直流および 400 cps 正弦波の電圧を種々のステップで選択でき、本機のみで直ちに電圧較正ができるものである。出力の安定度は電源変動 ±10% に対して ±0.1%、経時変化は約100時間使用ごとに内部較正をする。負荷インピーダンスは抵抗分 0.9 MΩ 以上、容量分 100 pF (AC 出力のとき) となっている。外形寸法は幅 520×高さ 200×奥行 404 (mm) で、重量は 18.2 kg である

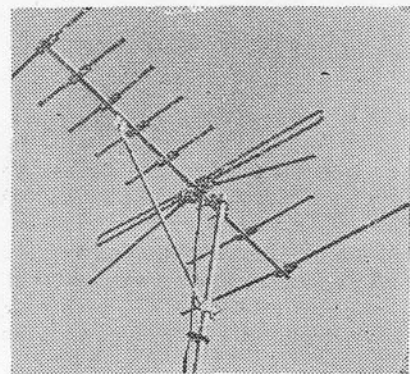


(東京都大田区馬込西 4 の 67)

菊水電子工業 K. K.

新日本の SB 型アンテナ

新日本アンテナ KK が発売した TV 用オール・チャンネルのアンテナで、フォルテッドとコニカルの特長を兼ね備えているものである。Bee Antenna (蜂アンテナ) と呼ばれている。つまり高い利得と鋭い指向性をもつフォルテッド・ダイポールと全チャンネルにわたって平坦な広帯域性と安定した特性インピーダンスをもつコニカル型を、完全に等しいインピーダンス状態において結合することに成功したものである

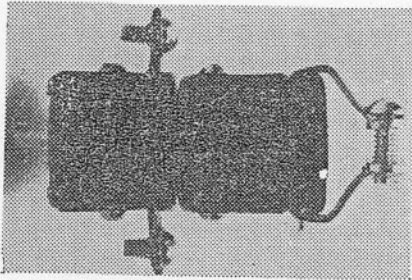


(東京都北東十条 1 の 3 Tel: 919-0196~8)

新日本アンテナ K. K.

## ミヤマのベビー・コンセント “#500”

従来同社には見られなかったチリメン塗装仕上げで、接続部は銀メッキつきで、接触電気抵抗は少なく接触は絶対確実である。2P, 3P, 4Pの3種類があり、取付穴は17φ、取付穴間隔は25mm。電流容量は125V, 3A、絶縁耐力はAC50c/s 1.5kVを1分間印加して異状なし。絶縁抵抗はDC500Vで500MΩ以上、接触電気抵抗は10mΩ以下となっている。

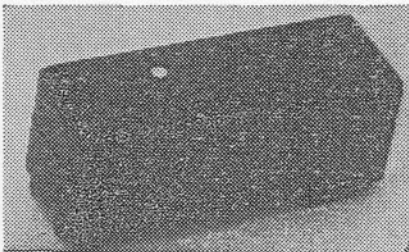


(東京都大田区上池上町 56)

ミヤマ電器 K. K.

## 高精度のマイクロ・スイッチ

昭和無線工業の発売したマイクロ・スイッチで、各種電子機器のシンクロ接点など機敏な高精度が要求される回路に使われるのに好適なもので、特に接点材料の選定には最高級品を使用し、構造も堅牢になっている。主な規格は、電気定格はAC:15A 125V, 250V, DC:0.5A 125V, 0.25A 250V。回路は単極双頭型、端子はハンダ付型、動作に必要な力は最大380gr、もどりの力最小114gr。となっている。



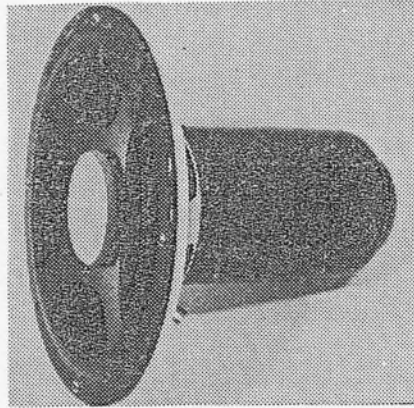
(東京都品川区東戸越 5 の 24)

昭和無線工業 K. K.

## エレガの新製品2種

### ◎残響スピーカー “20-RE”

音のマニアに愛好されている残響附加装置をスピーカーの中にとり入れた新方式のものである。残響附加装置はスプリングの従振動を利用しスピーカーの中に組込んであるので装置は簡単化され、取扱いには普通のスピーカーを操作するのと全く同じである。残響効果の調整は従来のスピーカーと組合わせてリモート・コントロール式なので適度に残響をコントロールすることができる。口径は20cm、VCインピーダンス8Ω、 $f_0$ :40~60c/s。再生周波数範囲40~15000c/s、最大許容入力10W。定格入力5W、平均音圧レベル95dB。重量は1.4kg、残響時間1.7秒となっている。



### ◎ST用ヘッドホン “DR-62C”

このダイナミック・ヘッドホンは左右チャンネルの音量が各々にリモート・コントロール(各々の耳元にツマミがついている)できているので、特に同時に



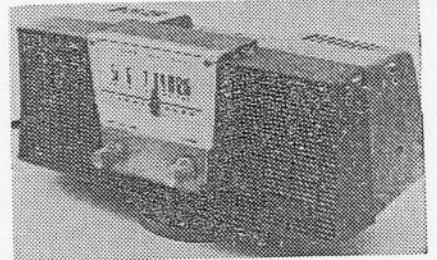
多数の聴取者が聞く場合など、各自の聴感にマッチするように適当に調節することができる。再生周波数帯域は25~17,000c/s、マッチング・インピーダンス:8~16Ω、公称入力:音量リモコンmaxで2mW、許容入力0.5W、リモコン変化値0~20dB、コードの長さ1.5m。なおチャンネル別リモコン装置は巻線型ボリューム(実用新案出願中)を使っている。

(東京都大田区池上町 98 Tel: 781-6001~5)

藤木電器 K. K.

## リンカーンのテーブル回転型 ラジオ “RN-60”

本機はちょっと風変わりなスタンド型で、回転台を使用しているので自由に方向を変えることができる。回路は12BE6, 12BA6, 12AV6, 50C5, 35W4の5球スーパーで、受信周波数は535~1605kc、スピーカーは8.8cmの丸型を2個左右に配している。出力は1W、消費電力は25VA。外形寸法は横320×高さ150×奥行155mmで、重量は1.5kgである。



(東京都品川区西大崎 1 の 390 Tel: 491-0473)

リンカーン電機 K. K.

## コーラルの SP システム “BX-15”

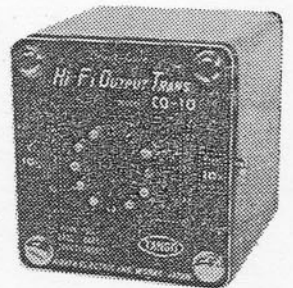
20cmの高性能ウーファーとプロミネント方式採用の6.5cmコーン型トゥイーターを、最も新しい合板材料を使ったバスレフ型キャビネットにおさめたモノラル、ステレオ兼用のスピーカー・システムである。形状もスペース・ファクターのよいキュービック・タイプであるから比較的せまいスペースでも大丈夫である。主な規格は、再生周波数範囲は50~18,000c/s、クロスオーバー3,500c/s、プログラム・ソース入力は10W、VCインピーダンスは16Ω、キャビネット寸法は高さ755×幅400×奥行300mmとなっている。

(東京都北区堀船町 3 の 25)

福洋音響 K. K.

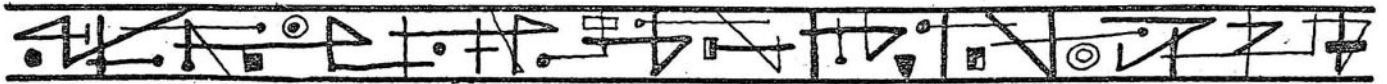
## タンゴの PP 用 OPT “CO シリーズ”

COシリーズは同社のCRシリーズと同様にオリエント・コアを使用した10W型のHi-Fi出力トランスで下の表に示す4種類がある。NFBが安定にかかり、歪が少



### タンゴの PP 用 OPT “CO シリーズ”

型名	インピーダンス		出力		最大一次電流		適応出力管
	一次 P.P (SG タップ付)	二次	50 c/s	70 c/s	2 本分	PPアンバランス分	
CO-10	10 kΩ	4, 8, 16 Ω	10 W	15 W	140 mA	3.4 mA	6AQ5 6AR5 6V6 6BQ5(T) P.P
CO-8	8 kΩ	4, 8, 16 Ω	10 W	15 W	160 mA	3.8 mA	6BQ5 6V6 6GW8 6GA4 P.P
CO-6	6 kΩ	4, 8, 16 Ω	10 W	15 W	200 mA	4.4 mA	6R-P15 6BM8 6AS7 6R-P51(T) P.P
CO-5	5 kΩ	4, 8, 16 Ω	10 W	15 W	200 mA	4.8 mA	6BM8 6GA4 2A3 6CA7(T) P.P



なく、高能率である。また PP の DC バランスも不要である。

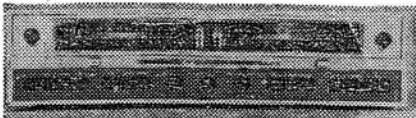
(東京都荒川区尾久町4の2043 Tel: 891-7726)

平田電機製作所

### ラックスのトライ・アンプ “HQ31, HQ32”

オール・ブッシュボタンによるワンタッチ・システムを採用している。6ブロック16個の押ボタンの操作でレコード演奏、ラジオ放送と意思のままにステレオを楽しむことができる。パネル中央の2個の大型メーターにより出力レベルとステレオ・バランスが同時に指示されるとともに、押ボタンの切換えにより同調指示メーターとしても使用できる。FM チューナーもついていて、マルチ用アダプター接続端子も用意されている。また、同社のSQ62型に採用された話題になったラックス独特のMFB回路も組込まれており、スイッチ一つで普通(NFB)回路と切換えられ、小型スピーカー・システムでも十分に低音を楽しむことができる。

16球+9ダイオードより構成され、チューナーは左がMWとSW、右がMWとFMになっている。出力段は6B8 PPが2チャンネルで、出力は10W+10Wである。イコライザーはNF型(RIAA)、トーン・コントロール(NF型)、ランブル・フィルター、スクラッチ・フィルターもついている。そしてMFB回路(HQ32型のみ)により低域が1オクターブ延長される。歪率は1%以下(55~7,500c/s 10Wにて)、周波数特性は40~20,000c/s(-2dB)。外形寸法は幅475×高さ125×奥行260(mm)で、重量は約14kgである。



(大阪市西成区長橋通2の22)

ラックス K.K.

### ハンセンのバルボル “JM-05”

非常にコンパクトに組まれたバルボルで、軽便さと高性能を誇っている。主な規格を列記すると、交流電圧計としては、測定範囲0~6, 30, 120, 600 (rms), 0~17, 85, 340, 1.7kV (P-P)、周波数特性は30c/s~6Mc、精度はフルスケールの±4%、入力容量は40pF以内である。

直流電圧計としては、測定範囲は0~6, 30, 120, 600V、精度はフルスケールの±3%。入力インピーダンスは11MΩ、抵抗計としては



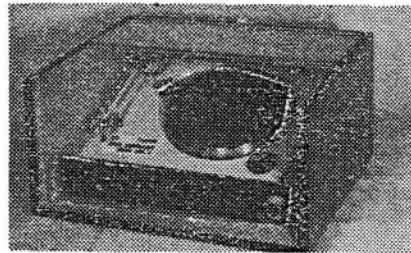
測定範囲はR×1, 100, 10k, 1Meg(0.2Ωから1,000MΩまで)精度は指示角度で全目盛の±3%のとなっている。測定値の指示はカソード・フォロワー方式のブリッジ指示、検波は二極管接続によるピーク値指示接続による。計示計器には100μAフルスケールの可動コイル型マイクロ・アンメーターが使われている。

(千代田区神田神保町3の3 Tel: 301-2925)

ハンセン電機工業 K.K.

### クライスラーの ステレオ・プレーヤー “Cp-200”

木製キャビにプラスチック上蓋のついたプレーヤー・ユニットである。変っているところはプレーヤー面が手前に20度傾斜して操作が容易になっていることである。シンクロナス・モーターを使った4スピード型で、ターンテーブルは20cm鉄板プレス、S/N比は30dB以上、ワウは0.3%以下となっている。カートリッジはプラグイン式セラミック型、アームはジャイロ・バランス型である。再生周波数は40~15000c/sで、出力電圧:200mV(1000c/sにて)、4チャンネル・アイズレーション:20dB(1000c/s)、チャンネル・バランス:±2dBである。外形寸法は横455×高さ220×奥行370(mm)

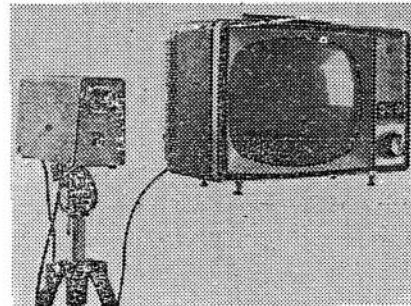


(渋谷区幡ヶ谷笹塚町2の1)

クライスラー電気 K.K.

### ナショナルのITVカメラ “WV-010”

ITVもいろいろ広範囲に使われるようになってきたが、まだ値段の点で一般向きとはいえない。しかし、近頃松下通信工業が出した本機はオール・トランジスタの小型で、値段は19万



12月号記事の中オフ広告「東商エレクトロニクスKK」のステレオ・テープデッキ価格¥3,8000は¥38,000の誤りです。お詫びして訂正します。

円(予定)というものである。カメラの最大部の寸法は84×150×308(mm)で、重量は約4.7kg。調整箇所は距離とビデオコン焦点の2つだけという簡単な操作で、距離40cmから無限大まで撮影できる。また完全EE機構がついている。必要最低照度は100lux(F1.8使用)である。受像は家庭用受像機に簡単につなげるRF方式である。なお出力ケーブルはインターホンにも共用できる便もある。

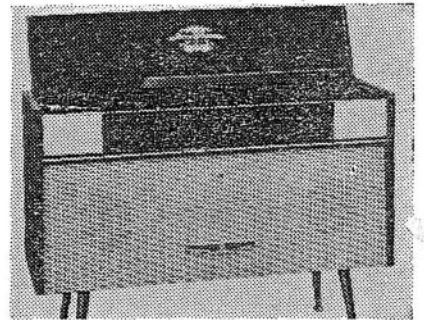
(横浜市港北区綱島町広町880)

松下通信工業 K.K.

### オンキョーの新製品2種

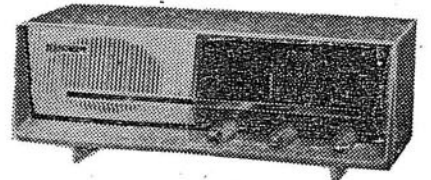
#### ●ステレオグラフ “ST-400”

MWバンドが2チャンネル、それにSW、FMチューナーがついている。終段は30A5で、出力は4W+4W(最大)となっている。そしてリバーブ回路、音質調整(NFブースター型3段押ボタン切替)もついている。スピーカーは20cmウーファーと5cmツイーターがそれぞれ左右についている。プレーヤーは4スピード、ターンテーブルは18cm、PUはクリスタル、ターンオーバー型(出力0.5V、針圧約7g)である。現金正価は¥58,000



#### ●FMつき2バンド・ラジオ “FM-185”

AM:530~1605kcとFM:76~90Mcの2バンド・ラジオで、使用真空管は17EW8, 12BE6, 12BA6×2, 12AV6, 30A5、それにシリコン、ゲルダイ計3個が使っている。スピーカーは12×8cm、出力は最大1.5W。アンテナはFM用300Ω平衡型および電灯線アンテナ用端子がついている。外形寸法横360×高さ133×奥行151mmで、重量は2.3kgである。現金正価は¥8,040。



(大阪市旭区大宮西之町5の32)

大阪音響 K.K.

### 机上辞典(増訂版)

3.6版 860頁 ¥380(〒70)

誠文堂新光社発行